

# フースタイルな僧侶たち



新企画  
仏教グッズを  
つくろう！  
Collaboration  
フェリシモおてらぶ  
フリスト



フェリシモおてらぶ・内村彰さんが毎朝Facebookページに上げて  
いるイラスト。当初は単色であったが、徐々に色彩が濃厚になり  
独特な筆致が増した。継続することの大事さをよく物語っている。

## —— 日常は仏教の実践フィールドだ ——

仏教が日本に伝わって  
1400年以上。いまや、そ  
の布教スタイルは多種多様だ。  
お寺では、音楽バンドの演奏  
が鳴り響き、プロジェクトヨ  
ンマッピングが本堂を鮮やか

に彩る。ヨガ教室やマルシェ、  
修行体験の開催はもう当たり  
前。バンドやDJ、手品から  
茶道に武道まで、自分の特技  
を上手に活用して布教する僧  
侶も多い。もちろんそこに伝  
統的な布教も加わる。

様々な試行錯誤により、こ  
こ数年で仏教に触れるための

入り口は増え、その敷居は低  
くなった。そして数多くの人  
が仏教を求め、お寺や僧侶を  
訪ねていたことは本当に嬉し  
いことだ。

だが最近ふと思う。仏教を  
実践するため、入り口から先  
に進んでいる人はどれ程いる  
のだろうか。入り口で満足  
してしまっている人はいない  
か？ 進み方が分からず留ま  
っている人はいないか？ そ  
こが仏教の入り口だというこ  
とにすら気づいていない人は  
いないか？

仏教は実践していく中での  
気づきにこそ旨みがあると思  
う。入り口から進み、出会っ  
た様々な仏縁から学んだこと  
を日常に持ち帰って実践する。  
この繰り返しにより「自分な  
りの仏教の理解」が生まれる  
のではないだろうか。

仏教と気軽に接点を持てる  
今だからこそ、もう一度、現  
代における仏教の旨みについ  
て考え、伝えていくことがで  
きればと思う。

フリースタイルな僧侶たち

## 内村 彰 (うちむら・あきら)

大阪府生まれ。フェリシモおてらぶ部長。社内外のお寺好きメンバーと共に、お寺文化の価値と魅力を伝えるべく、全国のお寺と協力して独創的な商品を作ったり、プロジェクトを立ち上げて生活者に提案し続けている。最近ハマっていることは「カレーを食べること」。



特集

# 「好き」を生きる フェリシモおてらぶ

内村 彰

これほど自分と他人の「好き」を大切にする人がいるだろうか。仏教ファンを虜にする商品を次々と生み出す「フェリシモおてらぶ」部長・内村さんの心の軌跡。

取材・写真：加賀俊裕  
photography & text: Shunyu Kaga

## お寺ラブ「おてらぶ」

仏教の守護神・四天王が踏みつけている邪鬼を、もちもち触感のポーチにした「もちもち邪鬼ポーチ」。仏像によく見る独特な髪型・螺髪をニット帽にした「らほつニットキャップ」。字が読めない人のために般若心経を絵で表した「絵心経」をマスキングテープにした「絵心経マスキングテープ」。仏教グッズといえば、数珠や御朱印帳、仏像がプリントされたTシャツなど割とガチンコな商品が多い中、このような異彩を放つ商品を世の中に送り出しているのは「フェリシモおてらぶ」だ。「フェリシモ」は多くの方がご存知だろう。ファッションやインテリア、美容・健康グッズから、おうちでできるレッスンプログラムなど、多種多様な商品を扱う通販の大手だ。「FELISSIMO」とは、ラテン語を語源とする言葉「FELICITY (＝至福)」と、強調を表す接尾語「SSIMO」を融合させた新語で、「最大級で最上級のしあわせ」という意味があるそう。僧侶の私は、その由来にちょっと親近感。だって、般若心経の「阿耨多羅三藐三菩提」この上ない無常の悟り」みたいで(笑)。

それはさておき、そんな大企業の中にあつて、あんなにユニークな商品を送り出している「おてらぶ」。会社なのに部活動？ お寺が好きなのが考えているの？ どうやってあのような個性的な商品を生み出しているの？ いろいろ気になるので疑問満載の頭で、フェリシモおてらぶの部長・内村さんを訪ねた。

神戸にあるフェリシモの本社。出迎えてくださった内村さんは、たくさんのお寺がプリントされたTシャツを着ていた。そして第一声が「この仏像、ぜんぶお菓子を削って作られてるんですよ」。オタクレベルの仏教好きだと確信した。

内村さんは現在39歳。大阪芸術大学でデザインの勉強をしたのち、大阪でグラフィックデザイナーとして8年勤め、フェリシモに入社して10年になる。フェリシモおてらぶを立ち上げたのは2014年。フェリシモには「部活制度」というものがあり、社員の方は部活を立ち上げることで、自分の好きなことをテーマに掲げて社会をよくする活動を行うことができる。その制度を使って立ち上げたから「おてらぶ」。ご本人いわく「お寺ラブ」という意味も込められ

## 仏教好きな人たちの「好き」のさらなる下支えができれば

ているから、「お寺部」ではなく「おてらぶ」だそう。「お寺文化から心豊かな暮らしのヒントを見つけよう！」をコンセプトに日夜、冒頭に挙げたような様々な商品の開発を行っている。中でも、おてらぶを代表する商品が「プチ写仏プログラム」だ。写仏とは、仏画などに描かれた仏様の姿を模写するもので、お経を写して書く写経の絵画版。描くことで心を鎮め、自分と向き合うことができる。その写仏をカジュアルにしたプチ写仏プログラムは、フェリシモの体験プログラムの中でも大ヒット商品。内村さんは写仏と出会い、この商品の開発に至ることで人生が変わった。

### 苦しい日々の末に

内村さんは、年季の入ったもとのからの仏教好きのように思えるが、そうではない。学生時代から仏像に関心はあったものの「それはデザインを勉強している人なら誰でも通る道ぐらいのものだった」と話す。転機が訪れたのは33歳のとき。新たな風を吹き込んでほしいと、商品開発の部署に配属されたが、なかなか自分の思うように成果を出すことができていなかった。焦る

自分の探していたものはこれだ！と直感した内村さんはすぐに、写仏を体験できるプログラムの商品化に取り掛かった。

### 日常の中に仏教体験を

プログラムを作るにあたり、内村さんは「家にいながらお寺にいるような体験ができること」を意識したという。プチ写仏プログラムでは、毎月1回、写仏セットが届く(年間12回)。内容は、仏様の下絵2枚と専用の半紙、筆ペンの他、お香と仏教にまつわるお話が書かれたテキストだ。描いた仏様に会いに行つてほしいとの想いから、お寺に実際にある仏像を下絵にした。ポスターカードサイズで、忙しい毎日でも10分あれば描くことができるカジュアルさ。一方で、お香を焚いて仏教にまつわる話を読んで写仏をする、お寺さながらの雰囲気写仏体験ができるプログラムになっている。

だが、内村さんのこだわりはこれだけに終わらない。専用の半紙は、わざと描きにくく、一般の人が使い慣れない質感のものを選んだ。そうすることで、思い通りに描けず、緊張や集中をせざるを得ない

内村さんを横目に、まわりのチームメンバーたちははトツプレイヤーとしてヒット商品を生み出し続ける。

「今思えば僕の商品も売れていなかったわけではないと思うんですよ(笑)。でも他のメンバーがすすすぎて」

一人はチヨコレイト分野に強く、もう一人はクラフト系に強いなど。それぞれに得意な分野があることが羨ましく映った。自分が作るものはジャンルもバラバラ。「キャラの定まっていないう笑いな芸人みたいに、いろんなことをやりましたよ(笑)」。段々と、あまり期待されていないのかな、とも思うようになり、少しずつ追い詰められていった。

そんな苦しい思いを抱えていたある日。何か気分を変えたいと思い、インターネットに「気持ち、リセット」と入力し、検索した。すると、奈良県にある當麻寺で写仏を体験した方のブログに出会った。「この人、お寺に行つて気持ちが落ち着いたんだ」。奈良はそう遠くないな、行ける。心惹かれるまま、軽い気持ちで當麻寺を目指したのは、2月の雪が吹き殴る寒い日だった。「広いお堂で写仏を体験したんです。『寒いでしょ』とお寺の方がストーブをあててくれ

状況を作りたかつたからだ。「描くたびに自分と対話しながら自分の心を仏様に投影してもらいたい」。今日しか、今しか描けない仏像があることを体験してほしいとの思いからだった。

そんな内村さんのこだわりが詰まったプチ写仏プログラムは、販売されるとツイッターを中心に大きな反響を呼び、老若男女、幅広い世代から問い合わせがあった。

「自分の感覚は間違っていないかった」。内村さんは喜びを覚えたと同時に、古くから仏教が暮らしの中心に置かれていた理由がもっと深く知りたくなった。仏教やお寺の良さは、もつといろいろあるはずだと。その探究心が原動力となり、フェリシモおてらぶを立ち上げたのだった。

### 好きの幅を広げたい

おてらぶを立ち上げて間もなく、大きな仏像企画展でのグッズ開発の話が少しずつもらえるようになった。

日常の中に仏教の体験を取り入れてもらうことを意識したプチ写仏プログラムと違い、企画展の商品は「買ってくれた人の仏教好きの幅を広げる」ことを意識したという。

るけれど、あつていいるところしか暖かくない。身体は芯から冷え、震える手で写仏に取り組むから、もちろん上手く書けない」

まさに修行のような状況で1時間半、仏様を描くことに向き合った。

「自分の心の中の葛藤を強く感じましたね。上手く描かなくていいと言われたけれど、線が歪むと気になる。でもすぐさま『いやいや、気にしなくていいんだ』と思い直したり。それでも目を入れるときは緊張して……」

写仏を終えると、心がすっきりしたとまでは思わなかったが、今までにない感覚を感じた。この気持ちは何だろうか？ お寺という空間の力かな？ 確かに心が変わるきっかけにはなりうるな、と。

この体験がきっかけとなり、持ち前のオタク気質もあってどんどん仏像の世界にはまっていた。仏像の世界について調べていると、今度はその時代背景が気になって、仏像の企画展に足を運んだりした。「そうこうしているうちに、なんとなく近寄りたくなって、おじさまのコアな趣味だと思っていた仏像の世界が、おぼろげに理解できるようになってきたんです」

企画展を訪れる人はもともと仏像やお寺など仏教の世界観好きだ。そんな人が商品を手にするので、これまで知らなかった仏教の世界観や教えを知り、その人の「好き」のさらなる下支えができれば嬉しいと考えたのだ。ただ、プチ写仏プログラムなどの体験系のもものは、習慣化することで感じる事が多く、その良さが伝わるスピードが遅い。逆に、見た目にインパクトのある商品は、ライトな仏教好きの心に素早く響くと考えた内村さんは、これまでにない仏教グッズを考案していく。

2016年、東京国立博物館で開催された「櫻野寺展」では、「らぼつニットキャップ」を発売したところ、仏教ファンの間で瞬時に話題となり、即完売。入荷しても数日で売り切れる状態が続いた。

また、自分が仏教好きになって以降、なかなか欲しいと思えるグッズに出会えなかったという内村さん。無いなら、自分と同じような人が持ちたくなる商品を自分で作ってしまえ。そうして製作し、同じく東京国立博物館で2017年に開催された「運慶展」で発売したのが、「もちもち邪鬼ポーチ」だった。いつも四天王に踏みつけられて

いま買える  
フェリシモおてらぶの  
仏教・お寺グッズ



#### 1 プチ写仏プログラム

月々¥1,620(年間=12回 ¥19,440)  
レッスンブック、下絵カード、半紙、カラー筆ペン、お香、専用クリップボード、中敷シート

仏像を写し描きする「写仏」を、日常に取り入れやすくアレンジした、フェリシモおてらぶの人気プログラム。下絵をなぞるだけなので、絵を描くのが苦手な人でも気軽に始めることができる。カラー筆ペンの色とお香の種類は毎月異なり、手元に届くのを待つのも楽しい。

#### 2 ぼさつニットバイザー

¥2,916  
綿100%(手洗い可)  
頭囲56~59cmに対応

好評を博した「らぼつニットキャップ」の次に登場したニットバイザー。つばを下ろすと普段使いのサンバイザーに、つばを上げると裏側に施された「宝冠(ほうかん)」と呼ばれる装飾があらわれる仕掛けになっている。風通しが良く、オールシーズン使える帽子。

#### 3 おてらぶハンドクリーム

¥1,280  
日本製  
50g

ほんのり華やかお香のかおりが上品なハンドクリーム。精進料理をイメージして、ユズ種子油、ダイズ油、月見草油、コメヌカ油、オリーブ油、ゴマ油、ハス花エキスが保湿成分として配合。スルツとなめらかなテクスチャーで伸びがよく、べたつかないのがうれしい一品。

## 応援するのが好きなだけかも 自分が好きなお寺や仏教を共有している人たちを

するお手伝いができるのではないかと考える内村さん。一方的な提案ではなく、お寺のやりたいことや抱える悩みについて、共に解決していく。そうやってできたプロジェクトやおオリジナルグッズには、お寺それぞれの特色がしっかりと表れ、そのお寺やご住職の人柄が好きになる人を増やすことにつながる。すると最終的には、仏教の教えにも関心を持ってもらえるかもしれない。

「結局、応援するのが好きなだけかもしれませんね。僕は自分が好きなお寺や仏教を共有している人たちを（笑）」

こう言いながら、なんとなくゆるい感じで、でもかみしめるように内村さんは話を締めくくった。

「自分が好きな仏教」。ここまでは爽やかに言い切る僧侶以外の方に出会ったことがあるだろうか？

ここに、内村さんの仏教への真摯な思いが垣間見られるエピソードがある。

プチ写仏プログラムが売れ始めた頃のこと。ある購入者の女性から問い合わせがあった。毎月、写仏キットを病床の母親の元に届けているが、今月に入って急に母親の体調が悪化した。写仏を最後まで

やり遂げさせてあげたいので、来月以降のキットをまとめて送ってほしいとの問い合わせがあった。その頃、まだ写仏キットは全レッスン分が完成していなかったため、まとめて送ることはできず、考えに考えて、別のキットを特別に製作し、お送りした。

この出来事で、どんな仕事でも人の生き方とつながっていることを、内村さんは強く実感した。日々、真面目に商品企画をやってきたものの、なんとなくこのままの自分であることが申し訳なくなった。「そうだ、修行だと思っ自分も僧侶が毎朝やっている朝のお勤めになるようなことをしよう」。さっそく次の朝から、仏様を描き始めた。

最初に描いたのは、お釈迦様。黒板、画用紙、ペンタブレットと、形を変えながら描き続けた。父親が亡くなったときも、1時間だけ一人の時間をもらって阿弥陀様を描いた。特別な時間だった。

そうして現在まで4年間、内村さんは毎朝、仏様を描き続けている。4年も毎朝描き続けていると、自分の心の変化に敏感になった。同じ仏様を描いても、一日として、同じように描けたことはない。前に描いた仏様を見て、その

描いたときの気持ちがい出せなかつたら、描いている時間を情性や義務感で過ごしていたのではと振り返り、仏様に申し訳ないと反省する。内村さんはとてつもなく真摯な姿勢で、仏様を描くことに向き合っている。

最近、仏教が好きだという人によく出会う。その入り口は、仏像だったり、御朱印だったり、法会や僧侶など人それぞれだけれど、面白いのはその人の「好き」が進化していること。仏像が好きなのは、その姿から仏様の役割に。法会が好きなのは、そこで唱えられるお経の意味に。好きだから、関係することはほとんどん知りた。学びたい。そんなとき、学びの中で仏教の「教え」に出会う。今まで好きだったことが「教え」をきっかけにつながら、少しだけ見えてきた仏教の本質が好きなになり、さらに知りたくなる。そして気づけば、仏教の教えが自分の日常の中に生きている。内村さんはまさにそんな人だ。そして内村さんを見ていて思う。仏教が好きなのこそ、日常に仏教があり、仏教の道を歩む「修行者」なんじゃないかと。

「好き」のエネルギーはとてつもなく力強い。

「この子は一番真面目で融通が利かない、この子は怠け者、この子は強面だけれど料理が好き。この子たちがいるときに毘沙門天に出会って……」

この世界観を購入した人に知ってもらおうと、種類の違う邪鬼ごとにキャラを設定し、それぞれにエピソードも作ったというから、邪鬼への愛情はものすごい。

「この子は一番真面目で融通が利かない、この子は怠け者、この子は強面だけれど料理が好き。この子たちがいるときに毘沙門天に出会って……」

嬉しそうに妄想を膨らませている間、内村さんが無意識に、モチモチ、ニギニギと邪気ポーチを握っていたことは、おそらくご本人は気づいていない（笑）。

仏教好きも、お寺も、自分が楽しめる仏教グッズが無いな、というのが製作の原動力だった内村さんだが、

最近はその心境に少し変化が出てきたという。

「今も、お寺や仏教が好きな人たちが自分を表現できる商品を提供していきたいという想いはあります。好きな人だけが分かるサインみたいな。でも、最近はそれに加えてお寺文化を守るお手伝いもできないかなと思うようになってきました」

また、内村さんは仏教の教えは必ずしも手放しに優しいわけではないと感じているという。

「僕も悩んでいたとき、解決するには自分が変わらないといけないこというすず気づいていました。でも誰か何とかして！」と、まるで駄々っ子みたいになっていたんです。そんなときに仏教は「こんな方法がありますよ」という提案はたくさんしてくるけれど、その悩みを解決する決定的な方法は教えてくれない。だからお坊さんがいて、分からないことに寄り添いながら、一緒に歩んでくれるのかなど。こう考えると仏教が好きなのと同じだけ、お寺も応援したいんです」

これまでのフェリシモおてらぶの活動から学んだノウハウを使えば、お寺の見せ方や、ご住職の想いを伝える・形に

いる、いかつい顔の邪鬼がなんとも愛らしいフォルムのもちもち触感のポーチになった。仏教好きだけでなく、女子高生にもウケそうなカワイイ商品だが、その内に込められた想いは深い。

邪鬼はもともと古代インドの闇の神「夜叉」のしもべとして世界を飛び回り、災厄をもたらしていたそう。お釈迦様の説法で夜叉は改心し、仏国土に仕える戦士となったため、邪鬼たちも四天王の足元で仏を守る役割を与えられた。悪者だったからといって滅されるのではなく、改心すれば、新たな役割をもらうことができる。このエピソードに、内村さんは仏教の慈悲の素晴らしさを見出した。

「だから邪鬼ってなんか健気で憎めないんですよね。人間っぽくって」

ほとんど創作だけれど、大事な部分だけは本当の仏教エピソードを織り交ぜた。こうすることで楽しみながら仏教を学んでくれる人が増えればと願ったことだ。

「SNSである人の投稿を見たいです。もちもち邪鬼ポーチにチェーンを無理矢理つけて、電車のICカードをポーチの中に入れて。改札通るたびに邪鬼ポーチを改札に押し付けているっていう（笑）。何としても日常で使いたいという思いに感動しましたね。もしそれを見たその人の友人と『それ何？』『邪鬼』『邪鬼って何？』『悪いことしてたけど改心した子やねん』なんてやりとりがあったらもう言うことなしですね。後日、一緒に邪鬼を見るため、お寺に足を運んでくれたら、さらにもう……」

「僕も悩んでいたとき、解決するには自分が変わらないといけないこというすず気づいていました。でも誰か何とかして！」と、まるで駄々っ子みたいになっていたんです。そんなときに仏教は「こんな方法がありますよ」という提案はたくさんしてくるけれど、その悩みを解決する決定的な方法は教えてくれない。だからお坊さんがいて、分からないことに寄り添いながら、一緒に歩んでくれるのかなど。こう考えると仏教が好きなのと同じだけ、お寺も応援したいんです」

これまでのフェリシモおてらぶの活動から学んだノウハウを使えば、お寺の見せ方や、ご住職の想いを伝える・形に


「もち邪鬼フォトコンテスト」開催中！

フェリシモおてらぶでは、「もちもち邪鬼ポーチ」を使ったフォトコンテストを毎月開催しています。あなたのおうちの「もち邪鬼」をモデルに、毎回Twitterにてフェリシモおてらぶアカウントから出されるお題で写真を撮って、Twitter上にアップしてください。受賞した方には、受賞者のお名前

の入ったオリジナルの「もち邪鬼フォトグラファー名刺」を作成しお送りします。受賞を重ねることでフォトグラファーランクがアップし、ランク「6」に到達した方は、フェリシモおてらぶ公認「もち邪鬼フォトグラファー」として認定させていただきます。皆様のご投稿をお待ちしております！

おてらぶTwitter  
https://twitter.com/foterabu/  
#もち邪鬼フォトコン #もち邪鬼

おてらぶのホームページが新しくなりました  
http://feli.jp/s/oterabu/



4  
もちもち邪鬼ポーチ  
¥1,836  
ポリエステル・ポリウレタン混  
13cm×8cm×8cm

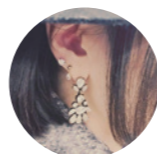


フィギュアのリアルさと、ぬいぐるみのやわらかさを両立したポーチ。表面には邪鬼のイラストが精密にプリントされ、鼻には別パーツを縫い付けるなどかなりのこだわり。カラーごとに付けられた名前もキュートで、内村さんの愛を感じる。頭を抱えたこのコは「灰次郎」。

4

## フェリシモ×フリスタ コラボ商品開発レポート Vol.1

今号で特集を飾った「フェリシモおてらぶ」とフリスタが、コラボ商品の開発に着手。マニアックでアツイ話し合いの末に生まれた商品案は、まさかの…?!



文／林中えみり

幼少期から生活圏にお坊さんがたくさんいる環境で育った影響でお坊さん好きに。でも仏教の知識は人並み以下、勉強中。好きなものはパンブルビーとアベンジャーズ。

2018年6月某日、シトと小雨が降る日曜日。フリスタボランティア部、略してフリ部（仮称）の面々は、神戸は三宮にあるフェリシモさんのオフィスに招集された。おしゃれで可愛いグッズ盛りだくさんの、あのフェリシモさんである！

眩いばかりの真っ白なオフィスに招かれたその理由は、「フェリシモおてらぶとフリスタでなんかグッズ作ろうぜ！」というハッピーな企画が立ち上がったからだ。

フリ部の面々はさまざまだが、個人的には「若い女子が買ったがるグッズ考えたら良いのかな？ エへへ」ぐらいの感覚でいた。

が、おてらぶ部長の内村氏の熱量はそんなものではなかった。

その熱量を一言で表す便利

今回の結論

鳥樞沙摩明王のトイレグッズをつくらう!!

---

完成までの進捗状況

5%

な単語がある。「オタク」である（めっちゃ褒めてる）。こちらとしては、チャラい考えしてすみませんでしたと言わざるを得ない。

そんなこんなで、3時間ほど多様な意見をアツく出した結果、見えた光は「鳥樞沙摩明王のトイレグッズ」だった（夜露死苦みたいな感じであるがヤンキー的なことではなく、これは「うすさまじようおう」と読むよ）。以前ヒットした「トイレの神様」という曲があるが、鳥樞沙摩明王のことと言っても過言ではない。

まさかの着地点が、鳥樞沙摩明王のトイレグッズとは……。これで、これからの「おてらぶ&フリスタ」コラボグッズから目が離せなくなった。そうじゃない。次回のレポートもお楽しみに。



文／竹林真悟

北海道生まれ。浄土真宗本願寺派僧侶。満誓寺副住職。西本願寺の無料境内ガイド「お西さんを知ろう」にも従事している。これまで100カ寺以上に参拝。趣味はガンダム。

## お寺でよく見かけるけれど なんだろ“アレ” Vol.5

見たことあるある、でも、よくよく考えてみれば「なに?」「なぜ?」であふれているお寺。そんな「?」を、お坊さんならではの視点でご紹介!

### 山門、三門、寺門、ジモン!

だれ? 寺門を「テラカド」って読んだ人は。アツイ仏教ファンは、寺門といえは園城寺（三井寺）、山門といえは比叡山と答えるかもしれない。

奈良時代、お寺にはだいたい三つの門があったので三門と呼んだらしい。たしかに東大寺には、南大門、転害門、西大門（門の跡）が残る。

やがて平安時代には、比叡山や高野山などでお坊さんが修行をするようになって、山の修行の場に通じる門が山門と呼ばれるようになった。高山野山では大門って言うけど。



上／（奥から）興正寺三門、興正寺阿弥陀堂門、北小路門（堀川通・京都市）。浄土真宗本願寺派の本山、興正寺と本願寺が並び建つ堀川通は、昭和24年まで本願寺の境内だった。堀の一部には16世紀末の石積み、歩道には古い灯籠が残る。下／境内東端を示す正面通を跨いで建つ本願寺総門。奥は本願寺御影堂門。

写真撮影＝竹林真悟 photography:Shingo Takebayashi

さて、お寺はお坊さんが生活し教えを伝える場所だ。それに不可欠な建物が、金堂、塔、講堂、鐘楼、経蔵、僧房、食堂の七つ（七堂伽藍）だと、鎌倉時代初期の「聖徳太子伝私記（古今目録抄）」という書物に数えられた。

あれ? 門が入ってないじゃない。それもそのはず。だってお坊さんの生活には直接関係ないから。その後には確立された禅宗では、法堂、仏殿、僧堂、庫院（台所）・東司（トイレ）・浴室に加えて、門が七堂伽藍の中に加わった。三門は三解脱門の略で、解

脱にいたるまでの、空、無相、無作の三つの境地をさす。僧侶にとつてそれぞれの境地にいたることが不可欠だから七堂に数えたのだらう。ちなみに、浄土宗知恩院や日蓮宗身延山久遠寺の三門では、無作の代わりに無願が入る。

他にも、三門の三は、貪、瞋、痴の三煩惱だったり、声聞、縁覚、菩薩の三乗を指しているという説明を聞いたことがある。

また、仏門に入る衆生を拒まない、仏の大慈悲心を表すものとして、扉がない門もある。一つひとつの門にはそれ

ぞれの意味が込められているのだ。

ここで重要なことが。異なる二つの世界の境界に建つことで、「ここからは違う世界だよ」と、門そのものが示す役割もあるということだ。つまり門がなければ、別世界があるという事実さえ、存在しないのと同じことになってしまう。

さらに門扉があっても、閉ざしっぱなしでは何も情報が入ってこない。時には内側を守るために閉ざさざるを得ないこともあるが、門扉は開いたり閉めたり、絶妙の調整ができるもの。時に勇気を持つて、門扉を開いて外の情報を得ることも必要だらう。

同じように、衆生の世界から見えなかつた仏教がここまですで伝わったのは、梵天が釈尊の心の扉を三度叩き、釈尊が門扉を開いてくれたからだ。

門扉が一度開かれると、内と外は互いに交ざり合い流れ合う。文字通り交流が起こる。梵天の勧誘をきっかけに釈尊によって開かれた仏教が、数千年を経てなお、絶えず今の私と交流していることを忘れないようにしたい。これぞまさに寺門交流。ヤー!!

文／稲田瑞規

1992年京都府生まれ。月神山称名寺(浄土宗)副住職。同志社大学法学部を卒業後、デジタルエージェンシーでメディア・広告領域を学び、独立。企画から執筆まで様々なコンテンツを手がける。2015年に伝宗伝戒道場を満行し、地元の人々とのふれあいの中に「えも言われぬエモさ」を感じ始め、お寺と地元を繋ぐ活動に注力している。

# フリスタウェブ版 “無常”のリニューアル決定!

直接仏教に触れてほしいという思いから、紙媒体メインで発信し続けてきたフリスタ。ニューカマー・稲田瑞規によると、ウェブにもユニークな強みがあるという。ウェブが仏教の表現に与える影響、メディアにおける「フリースタイル」とは?



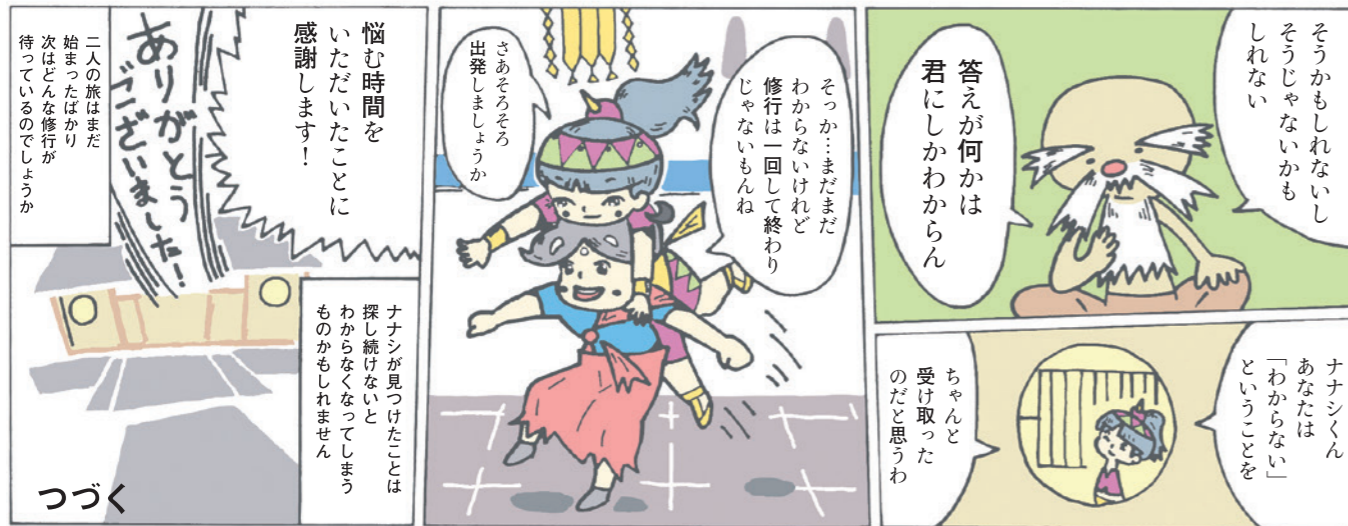
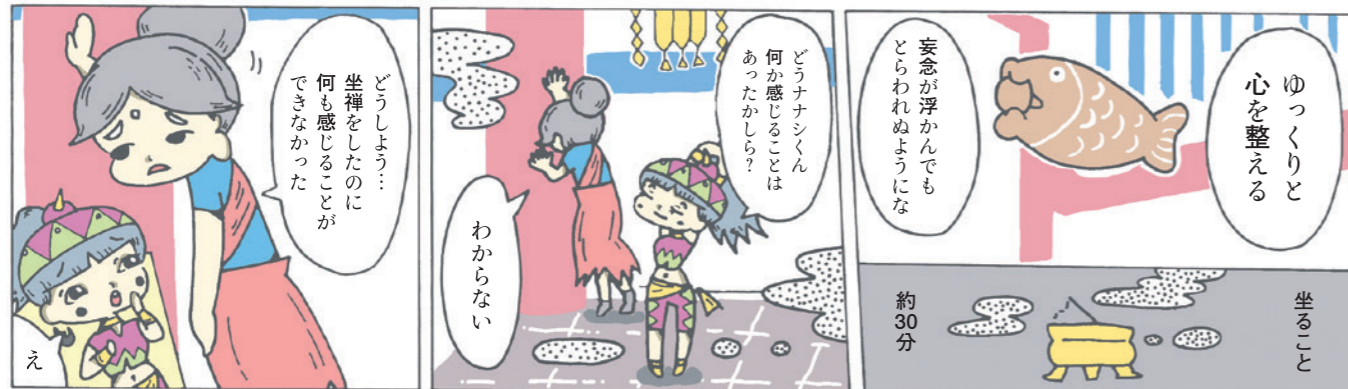
スタイリストはなんと実のおばあさまという食材(?)写真。彼こそ「フリースタイル」と言うにふさわしい。

フリスタウェブ編集長、  
精一杯努めさせていただきます!

「ウェブマガジンなんて、今さらですか?」  
そんなドスの利いた反応が飛んできそうな今日この頃。今や時代は、ウェブ全盛期を通り越して、ウェブ当然期。そんな時代に、フリースタイルな僧侶たちもウェブをリニ

ューアルし、本格的にネット上でも情報を発信していくことになりました。  
なんともメランコリーな書き出しになってしまいました。が、今回のリニューアルは別に流行りに今さら乗っかってみたわけではありません。そうではなく、これまでの情報発信の形から変わることによって、発信の形から変わることによって、可能性があると思ったのです。  
創刊以来、「フリースタイルな僧侶たち」は、身近な仏教を届ける紙のフリーマガジンとして情報を発信してきました。しかし、「仏教」と一言でいっても、ソフト(仏教)、ハード(お寺)、アクター(僧侶・仏教ファン)が絡み合った「曼荼羅」のようなもの。その深淵な世界を、紙媒体ひとつで届けることに限界がありました。  
そこで、その長年培われた発信形態に、新しくウェブの媒体を追加することが提案されました。紙とウェブの二刀流で、仏教の幅広い側面を、幅広い方々に届けていく、それが今回のリニューアルの魂胆です。  
紙に比べてウェブが得意なのは、読者を巻き込むこと。読者から企画を募集したり、

寄稿してもらったり、さらにはSNSでの生配信など、読者の方が「フリスタに関わりたい!」と思える楽しい仕掛けをたくさん用意していく予定です。  
ありがたいことに、この度は僕は「ウェブ編集長」という役割を授かることになりました。メディアを運営する上で、心に刻みたいの「フリースタイルであり続ける」ということです。メディアの形式や既存のルールに執着するのではなく、常に本質を問い、時によってその姿を変えていく。それがメディア体名「フリースタイル」の名にふさわしい姿勢なのだと思っています。  
例えば、もしかしら、1年後には早々にウェブメディアをたたんで、フリスタメンバーでYouTuberをしていたりはたまた、バンドを組んで音楽活動をしているかも。その際、僕はウェブ編集長ではなく、バンドリーダーです。音楽性の違いで解散しないようにだけ注意したいと思います。さて、そんな無常を体現したフリースタイルな僧侶たちのウェブ版は、10月にオープン予定です。どうぞ期待ください!



※坐禅指導は寺院や地方によって違いがある場合がございます

光背アンブレラ ¥2,160 ぼさつニットバイザー ¥2,916 (以上、すべてフェリシモおてらぶoterabu@felissimo.co.jp) その他内村さん私物



## フリースタイルな僧侶たち Vol.51

2018年8月1日発行  
発行人 加賀俊裕

発行所 フリースタイルな僧侶たち  
〒542-0085  
大阪府大阪市中央区心斎橋筋2-7-12  
☎050-5583-4330

編集  
若林唯人・光澤裕顕・飯村絵理子

デザイン  
梅本龍青

企画協力  
竹林真悟・飯野顕志・福山智昭・久松彰彦  
稲田瑞規・河村英昌・水戸智舟・財津宏経

記事内容・広告  
弊誌設置のお問い合わせ  
☎050-5583-4330 info@freemonk.net

# ご支援のお願い

フリースタイルな僧侶たちの活動を  
応援して下さるサポーターを募集しています。

スクーターで通り過ぎる姿か、お葬式やご法事。僧侶を見かける  
機会はそれぐらいで、有名なお寺以外はなんだか入りにくい。僧侶  
としてこの現況を申し訳ないと思うし、もったいないとも思います。

人生は苦なりと説く仏教。ネガティブなようだけど、深い悩みの  
最中にあるときには、その通りだと身に沁みます。なぜ私たちの苦  
しみは起こるのか。自分も他人も仕合せになるために、いかに生き  
ればよいのか。2500年にわたり伝わってきた仏教のポテンシャルは  
確かで、今を生きる支えになると私たちは信じています。

固定観念にとらわれず、フリースタイルに——フリーマガジン・  
ウェブ・イベントを通して、軽やかに仏教と出会えるように、安らぎ  
や気づきが得られるように、持てる力を尽くしてまいります。

私たちの取り組みに共感し、応援して下さるサポーターを募集  
しています。仏教を身近に、日常に。そして、あなたの生きる力に。  
仏教が生きる安らかな社会をご一緒につくっていきましょう。

## 協賛法人サポーターリスト

### 浄土宗……安心院(八幡市)／安楽寺(南丹市)

／延命寺(堺市堺区)／吉祥寺(萩市)／九品寺(京都市南区)／教安寺(福津市)／慶藏院(伊勢市)／光照院(台東区)／金剛寺(京都市東山区)／西明寺(尼崎市)／西楽寺(京都市伏見区)／西林寺(大阪府泉南郡)／浄栄寺(東近江市)／正覚寺(青森市)／正善寺(伊丹市)／勝楽寺(町田市)／真光寺(今治市)／新善光寺(札幌市中央区)／崇福寺(甲賀市)／善願寺(甲賀市)／善道寺(札幌市豊平区)／臺鏡寺(枚方市)／檀王法林寺(京都市左京区)／潮音寺(東京都大島町)／長壽院(台東区)／梅窓院(港区)／法岸寺(静岡市清水区)／寶松院(港区)／法善寺(大阪府中央区)／妙慶院(広島市中区)／無量光寺(鳥取市)／湯川寺(函館市)／龍岸寺(京都市下京区)

浄土宗西山禅林寺派……光明院・田中医院(京都市中京区)／宝泉寺(津島市)

浄土真宗本願寺派……光栄寺(井原市)／光福寺(大阪府東淀川区)／光徳寺(みやま市)／光明寺(奈良県吉野郡)／西教寺(生駒市)／西方寺(大和郡山市)／西法寺(北九州市)／浄元寺(尼崎市)／正源寺(大津市)／正宣寺(大阪府北区)／浄満寺(大阪府西成区)／信覚寺(福岡県朝倉郡)／崇興寺(福山市)／養法寺(金沢市)

真宗大谷派……覚法寺(福岡県八女郡)／称讃寺(新潟県長岡市)／正蓮寺(伊豆の国市)／超覚寺(広島市中区)／宝皇寺(函館市)

浄土真宗東本願寺派……緑泉寺(台東区)

天台宗……圓融寺(目黒区)／大圓寺(目黒区)／本覺寺(横浜市鶴見区)

高野山真言宗……弘法寺(和泉市)／薬師院(岸和田市)

真言宗豊山派……寶積寺(松山市)

真言宗御室派……三津寺(大阪府中央区)

臨濟宗妙心寺派……円光寺(台東区)／宜雲寺(江東区)／勝林寺(豊島区)／陽岳寺(江東区)／龍雲寺(世田谷区)

臨濟宗建長寺派……帰一寺(静岡県賀茂郡)／東光禪寺(横浜市金沢区)

曹洞宗……四天王寺(津市)／瑞生寺(浜松市中区)／南詢寺(守口市)／鳳仙寺(宮城県亶理郡)

日蓮宗……池上寶相寺(大田区)／法華寺(亀岡市)／妙海寺(勝浦市)／妙見寺(橋本市)

時宗……正法寺(京都市東山区)

単立……五百羅漢寺(目黒区)／瑞聖寺(港区)／法然院(京都市左京区)

企業・団体・店舗……株式会社アールアンドダブリュー(京都市中京区)／株式会社アンカレッジ(港区)／遠藤新兵衛商店(京都市下京区)／株式会社カウントワン(京都市中京区)／株式会社京美仏像(京都市北区)／京念珠ゼニヤ(京都市下京区)／株式会社薫寿堂(神戸市)／株式会社作鳥(京都市下京区)／茶坊えにし(台東区)／寺院コム(京都市左京区)／翠光堂阪急淡路駅前店(大阪府東淀川区)／大正大学(豊島区)／学校法人鎮西学園(熊本市中央区)／豊田愛山堂(京都市東山区)／一般社団法人日本石材産業協会(千代田区)／株式会社はせがわ(文京区)／浜屋株式会社(姫路市)／株式会社Flucle(大阪府都島区)／坊主BAR縁(岐阜市)

\*敬称略・五十音順

## サポーター特典

- 弊誌を毎月お送りいたします(年間4回)
- 主催イベントにおいて、優待いたします。
- 法人サポーターの方は、誌面にお名前を掲載いたします。

ご支援くださる方は、下記サイトのフォームにご記入・お申し込みください。  
担当者より、振込先などについて折り返しご連絡を差し上げます。

<http://www.freemonk.net/contact/support>

## 会費振込先

三井住友銀行／園田支店(422)／普通／5092943

フリースタイルな僧侶たち／代表 加賀俊裕

協賛年会費	個人=5,000円 法人=30,000円
-------	----------------------

お振り込みの際、あらかじめ下記のいずれかにご連絡ください。

tel◎050-5583-4330 E-mail◎info@freemonk.net

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます

## EVENT info.

### アラサー僧侶とゆるーく話す会

9月29日(土) 大阪・七宝山大福院 三津寺

お申し込み：  
<http://www.freemonk.net/events>  
お問い合わせ：  
[info@freemonk.net](mailto:info@freemonk.net)

開催時間：14:30～17:00  
参加費：1000円(サポーター800円)  
定員：各回10名  
住所：大阪府中央区心斎橋筋2-7-12

### ハナ唄になるまでが理想の聲明講座

9月8日(土) 京都・一念寺

開催時間：15:00～17:30  
参加費：1,000円(サポーター800円)  
定員：20名 ※筆記用具をご持参ください  
住所：京都市下京区柳町324



# 「修行体験ブッダニア 2018」 開催決定&運営スタッフ募集!!

昨年11月、フリストア始まって以来の大イベントとなった「修行体験ブッダニア」が、今年も大阪心斎橋・三津寺をメイン会場に開催されます。  
僧侶になって、僧侶の日常を体感する、おそらく日本で一番気軽な修行体験。  
今年は運営スタッフを募集し、修行体験のコンテンツを皆さまと一緒に考えます。  
皆さまのご応募をフリストア同、心より楽しみにお待ちしております。



## 「修行体験ブッダニア」 運営スタッフ募集

仏教がお好きな一般の方、僧侶の方、どんな方でもご応募できます。  
興味を持たれた方は [buddhania@freemonk.net](mailto:buddhania@freemonk.net) までご連絡ください。

### 修行体験 **ブッダニア** 2018

開催日：2018年11月17日(土) 11:00~17:00 予定  
会 場：三津寺(大阪市中央区心斎橋筋2-7-12)

2018  
**11.17** Sat  
11:00 — 17:00



# 心といのちの電話相談室

## ☎ 03-3436-6823

相談受付 毎週月曜日・金曜日 10:00~16:00 (祝日、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと  
願う人がいます。  
つらいお気持ち  
おはなしてください。

### 「心といのちの電話相談室」の特徴

- 研修を受けたお坊さん、お寺の奥さんがお話を伺います
- 多彩なご相談に対応します
- 周囲の方もご相談ください

### 「心といのちの電話相談室」の約束

- 秘密は必ず守ります
- 勧誘はしません
- 無料でお受けします

## 「心といのちの電話相談室」事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人 浄土宗ともいき財団 内  
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ <http://tomoiki.jp/>

詳しくは

心といのちの電話相談室 検索